

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
35000	X-21-B-2-350006	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
現代ヨーロッパ論	臼井 陽一郎			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			

#### 授業目的

1. ヨーロッパ統合の来し方・行く末について熟考する。
  2. ヨーロッパ国際社会の政治的特徴について理解する。
  3. 現代ヨーロッパを第1期と第2期に分け、ヨーロッパ統合の視点からその質的相違について考察を深める。
  4. ヨーロッパ各国政治に共通に見られる諸課題（格差、差別、極右、テロ）について、ヨーロッパ統合の視点から議論する。
- なお、この授業は、「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得する」ための科目のひとつになる。
- また以下の内容・順序は、当該年度学期に展開する新たな政治状況のありように応じて、変更することがある。最新の動向を紹介することを優先したい。

#### 各回毎の授業内容

##### 第1回

【授】現代ヨーロッパへの視点：第1期（ドイツ統一・ソ連崩壊・東欧革命・EU形成・ユーゴ内戦）と第2期（実存の危機—ユーロ危機・難民危機・テロ・反EUポピュリズム）、ヨーロッパ統合の行方とドイツ問題という視座

【前・後】ヨーロッパ政治のニュースをフォローしておくこと。また参考図書を図書館で探して、気になったところを部分的に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習。

##### 第2回

【授】ヨーロッパの政治的特徴：人権とデモクラシーと法の支配、国民国家と国際法、国際組織の重要性、帝国主義・植民地支配の遺産

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第3回

【授】ヨーロッパ国際組織（1）CoE（欧州審議会）—欧州人権条約と欧州人権裁判所の役割

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第4回

【授】ヨーロッパ国際組織（2）NATO（北大西洋条約機構）—コソボ紛争という分水嶺

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第5回

【授】ヨーロッパ国際組織（3）OSCE（全欧安保協力機構）—ヘルシンキプロセス

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第6回

【授】ヨーロッパ統合の展開（1）統合の理念、EUという成果

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第7回

【授】ヨーロッパ統合の展開（2）ドイツ問題、フランスの思惑、アメリカの存在

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第8回

【授】現代ヨーロッパ第1期（1）ドイツ統一、1989年の一年

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第9回

【授】現代ヨーロッパ第1期（2）東欧革命—リベラルデモクラシーとフリーマーケット

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第10回

【授】現代ヨーロッパ第1期（3）ユーゴ内戦

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第11回

【授】現代ヨーロッパ第2期（1）危機の様相、ヨーロッパ統合がもたらした問題、あるいは統合のポテンシャルについて

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第12回

【授】現代ヨーロッパ第2期（2）ユーロ危機

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第13回

【授】現代ヨーロッパ第2期（3）難民危機

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第14回

【授】現代ヨーロッパ第2期（4）反EUのポピュリズム

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第15回

【授】現代ヨーロッパ第2期（5）Brexitの行方

【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通していただくこと。4時間相当の事前事後学習

##### 第16回

【授】学期末レポート（ワークシート）提出

【前・後】授業中に提示したワークシートを提出すること。

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							50
宿題・授業外レポート							50
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

ワークシート50%・毎回のコメントカード50%

#### 教科書参考書

授業中に適宜指示する

#### 受講に当たっての留意事項

ヨーロッパのニュースに日々ふれるようにしていくこと。毎回コメントカードを書いてもらう。その日の授業のまとめを記し、感想や疑問を述べるという形式にしたい。

#### 学習到達目標

1. ヨーロッパ統合の歴史的な意義と現代的な課題について、自らの認識をたえず新たにしていける自分なりの接近法を手に入れること。
2. 現代ヨーロッパの動向に東アジアの今にも通底する政治の課題を見いだす批判的思考に習熟すること。
3. 特定地域の国際政治の歴史を学習しつつ現在の動向を追うにあたって、実績の光と失敗の影の双方に目を配り、両者を鋭く対比させる認識方法を獲得すること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習